

8 クロス集計結果

(1) 児童生徒への質問の結果（児童生徒質問紙）と学力との関係

次のように回答している児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。これらは、全国傾向とほぼ同様であり、今後も、自校の児童生徒の学力や学習に対する意識等をよく分析した上で、指導法等の工夫・改善を図りたい。

授業における、主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導方法

- 前年度までに受けた授業では
 - ・ 先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。
 - ・ 自分の考えを発表する機会が与えられていた。
 - ・ 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた。
 - ・ 学級やグループの中で、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた。
 - ・ 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っており、そのときには、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた。
 - ・ 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
 - ・ 目標（めあて・ねらい）が示されていた。
 - ・ 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。
 - ・ 道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。
- 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。

自己有用感

- 自分にはよいところがあると思う。
- 先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。

道徳、規範意識等

- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- 学校のきまり（規則）を守っている。
- 友達との約束を守っている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。

基本的な生活習慣

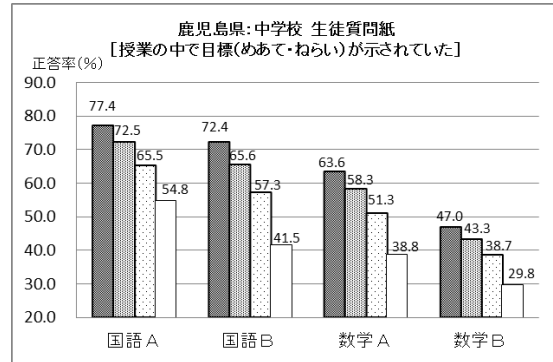
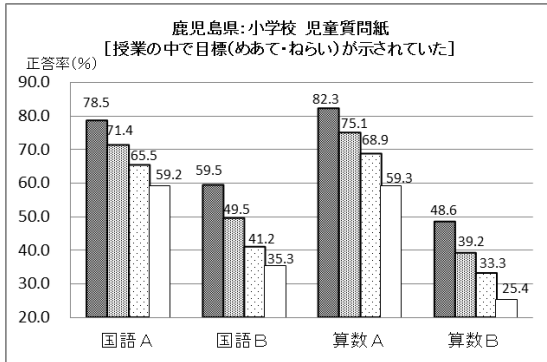
- 朝食を毎日食べている。
- 普段（月～金曜日）、1日当たりの
 - ・ テレビゲームの時間が少ない。
 - ・ 携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が少ない。
 - ・ テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間が少ない

家庭学習

- 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりの勉強をする時間が長い。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- 家で、学校の授業の復習や予習をしている。

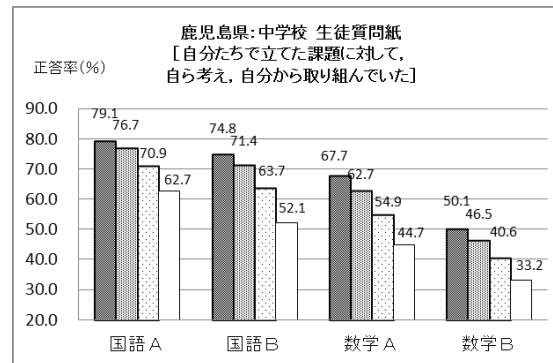
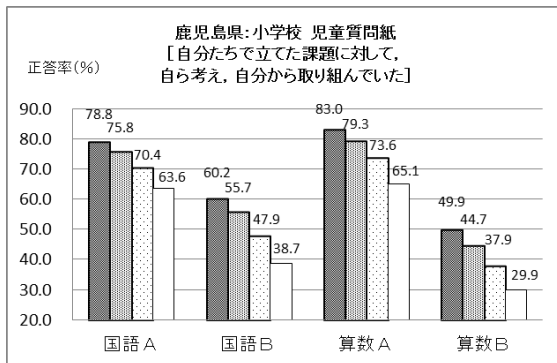
特に児童生徒質問紙の回答と学力との相関が高かった項目は以下のとおりである。

小学5年生まで〔中学1・2年生のとき〕に受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか



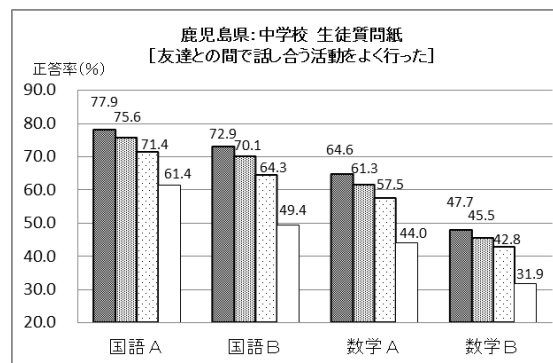
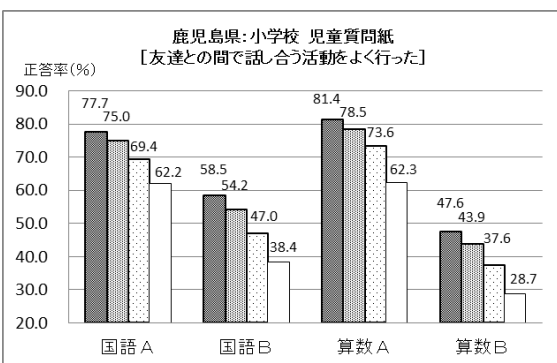
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか



■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

小学5年生まで〔中学1・2年生のとき〕に受けた授業では、学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。



■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

授業の目標が明確で、課題に対して自ら考えて取り組み、話し合う活動が活発である児童生徒の姿が、学力向上につながっていることが明らかとなった。「特集1 『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善は何のため、誰のため」も参考に、授業の在り方を全職員で再検討したい。

(2) 学校の取組（学校質問紙）と学力との関係

次のように回答している学校ほど、全て又はほとんどの学年・教科で平均正答率が高い傾向が見られた。今後も、自校の取組を点検する際の参考指標とし、指導法の工夫・改善に生かしてほしい。

授業における、主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導方法

〔学校の取組〕

- 指導計画について、言語活動に重点を置いて作成している。
- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした。
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた。
- 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした。
- 発言や活動の時間を確保して授業を進めた。
- 児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた。
- 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした。
- 国語で書く習慣を付ける授業を行った。
- 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導した。
- 道徳の時間において、児童自らが考え、話し合う指導をした。
- 国語、算数（数学）で発展的な学習の指導を行った。
- 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる。

〔児童生徒の状況〕

- 学級やグループでの話し合いなどの活動で
 - ・ 自分の考えを相手にしっかりと伝えることができている。
 - ・ 相手の考えを最後まで聞くことができている。
 - ・ 自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができている。
- 自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことができている。

児童生徒評価

- 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価した。

道徳、規範意識等

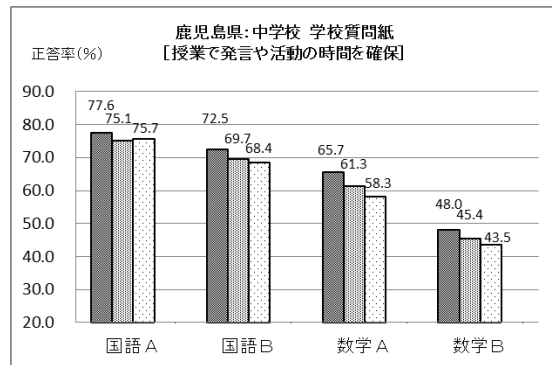
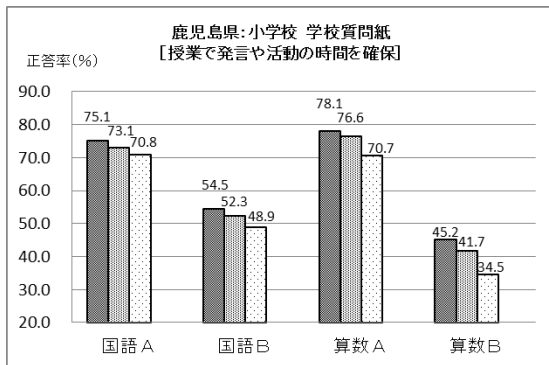
- 学校は学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底した。
- 児童生徒は、熱意をもって勉強している。
- 児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いており、礼儀正しい。

校内研修

- 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。
- 児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている。
- 授業研究を伴う校内研修を年5回以上行った。

特に学校質問紙の回答と学力との相関が高かった項目は以下のとおりである。

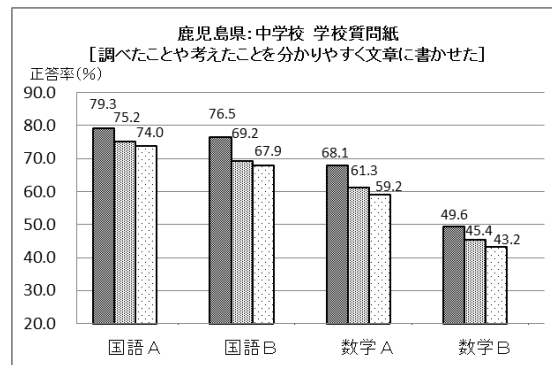
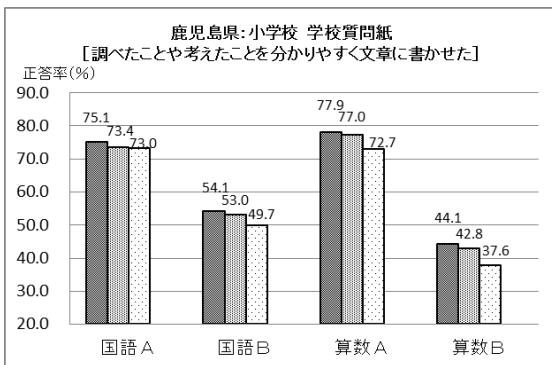
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



■よく行った ■どちらかといえば、行った □あまり行っていない

※ 「全く行っていない」と回答した学校はなかった。

調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか

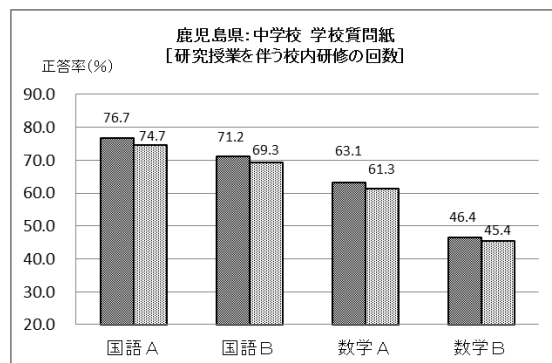
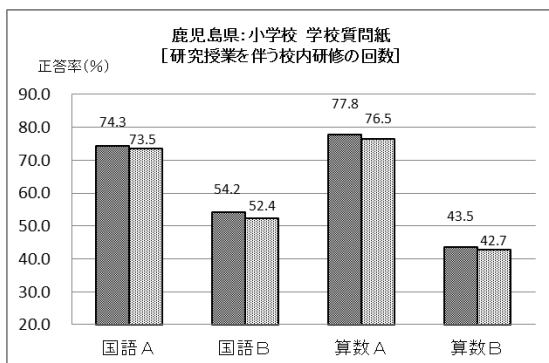


■よく行った ■どちらかといえば、行った □あまり行っていない

※ 「全く行っていない」と回答した学校はなかった。

校内研修の取組と学力の相関関係も見られた。「特集3『主体的・対話的で深い学び』」の実現を、学校全体で進めていくために～校内研修のすすめ～」を参考に、効果的な校内研修はどのようにあればよいのか、再検討が必要である。

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか



■5回以上 ■4回以下

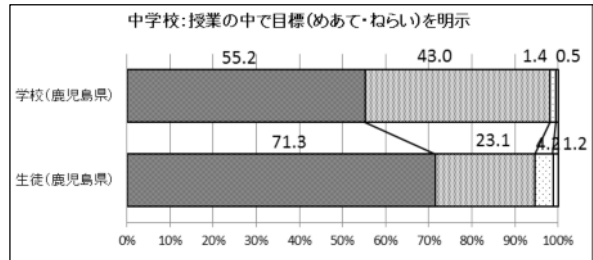
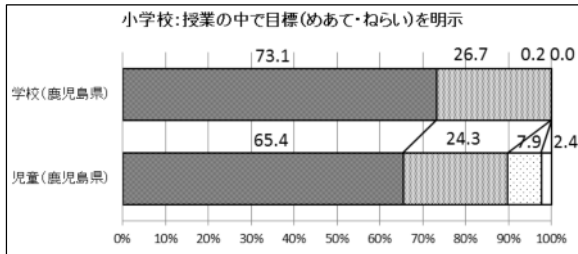
	回数	学校数	割合 (%)	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	5回以上	225	45.0	74.3	54.2	77.8	43.5
	4回以下	275	55.0	73.5	52.4	76.5	42.7
中学校	5回以上	127	57.5	76.7	71.2	63.1	46.4
	4回以下	94	42.5	74.7	69.3	61.3	45.4

(3) 児童生徒への質問の結果（児童生徒質問紙）と学校の取組（学校質問紙）との関係

児童生徒への質問の結果と学校の取組を比較したところ、両者の意識にずれが認められる項目が見られた。

【学 校】授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか

【児童生徒】授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか



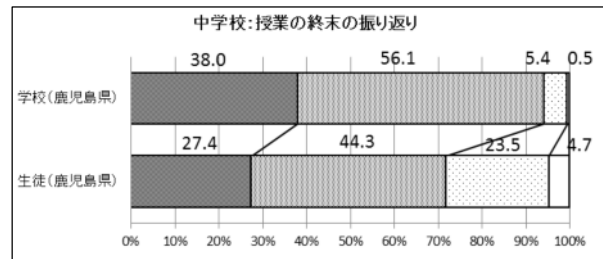
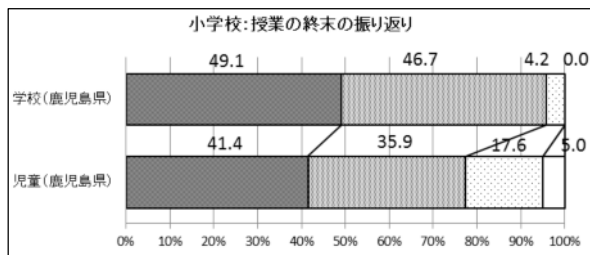
■よく行った ■どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない

「授業の目標が示されていた」と回答した児童（小学生）は89.7%，生徒（中学生）は94.4%である。小学校ではほぼ全ての学校で目標が示されているにも関わらず、10.3%の児童が授業の目標を捉えきれないまま学習していることになる。

【参考】平成28年度鹿児島学習定着度調査の児童生徒質問紙「あなたの学級では、授業のめあて（学習目標）を立てていますか」では「よくしている」「どちらかといえばしている」と回答した小学5年生（当時）は今回と同じく89.7%，中学2年生（当時）は84.1%だった。

【学 校】授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか

【児童生徒】授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

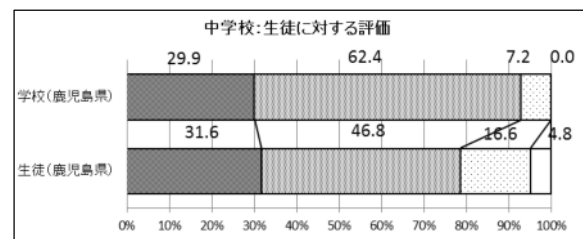
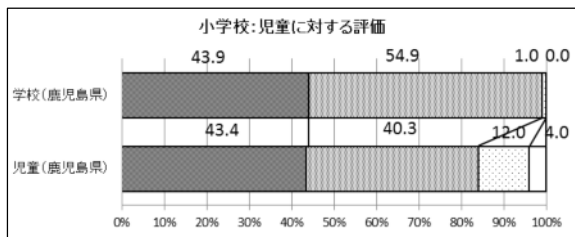


■よく行った ■どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない

「授業の最後に振り返る活動を行っていた」と回答した児童（小学生）は77.3%，生徒（中学生）は71.7%であった。小中学校ともに、20%以上の児童生徒が振り返りの活動に満足していないと考えられる。

【学 校】学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか

【児童生徒】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

児童（小学生）の83.7%，生徒（中学生）の78.4%が、先生によりところを認めてもらっていると実感している。「特集4 児童生徒の自己有用感を意識した学級づくり」を参考に、今後も積極的な評価に取り組んでほしい。